

## ■2017年マリン関連ニュースリスト「MJCマリン十大ニュース」

No.	日付	テーマ	内容	備考 (MJC 内部検証用の資料として URL を記載)
1	1月10日	国内最大のサンゴ礁、7割死滅	環境省は10日、沖縄県の石垣島と西表島の間にある国内最大のサンゴ礁「石西礁湖」で起きた大規模な白化現象で70.1%のサンゴが死滅したとの最終調査結果を発表した。	<a href="http://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/79258">http://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/79258</a>
2	1月23日	黒潮が「爆弾低気圧」を日本に呼ぶ	海洋研究開発機構アプリケーションラボの吉田聡研究員と北海道大学大学院理学研究院の見延庄士郎教授は、日本列島の南側を流れる暖流「黒潮」が暴風や大雨などをもたらす「爆弾低気圧」を日本に集中させていることを発見した。海洋機構のスーパーコンピューター「地球シミュレータ」で過去20年間の海面水温のデータを解析し明らかにした。気候変化の予測に役立つ可能性がある。	<a href="http://www.iamstec.go.jp/i/about/press_release/20170121/">http://www.iamstec.go.jp/i/about/press_release/20170121/</a>
3	2月1日	救命胴衣の着用を義務化	2月1日、国土交通省は小型船舶操縦者法に基づく省令を改正し、2018年2月からプレジャーボートや漁船など小型船舶の乗船者にライフジャケットの着用を原則義務化する。ジャケットを着用させていない船長には、周知期間において2022年2月から違反点数2点を科す。	<a href="http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr6_000018.htm">http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr6_000018.htm</a>
4	2月～4月	世界の海を巡る科学探査船〈タラ〉、日本に初寄港	フランス・ロリアンを母港とする科学探査船〈タラ〉は、極圏を含む世界各国の海で、数々の調査・研究航海を実施。現在は世界のサンゴ礁を調査する「太平洋プロジェクト」を実施しており、その航海の途上、日本に初寄港。国内10カ所を巡り、各機構先で体験乗船、地球環境に関するシンポジウムやセミナーを開催。NHK総合で特別番組も放送された。	<a href="http://jp.oceans.taraexpeditions.org/">http://jp.oceans.taraexpeditions.org/</a>
5	2月14日	大さん橋で港活性化。国交省が新たに登録	国土交通省は13日、港の活性化や地域振興に取り組む港湾施設として、横浜港大さん橋国際客船ターミナル（横浜市中区）を新たに登録したと発表した。登録名称は「みなとオアシス横浜港」で大さん橋を代表施設と位置づける。	<a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/basicinfo/torikumi/minatooasisvokohama.pdf">http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/basicinfo/torikumi/minatooasisvokohama.pdf</a>
6	3月	日本オーシャンレーサー協会、発足	「日本の若きセーラーたちの挑戦を応援する」ことを目的とした、一般社団法人日本オーシャンレーサー協会（JORA）が設立。フランス・ロリアンを拠点とする協力艇（クラス40）で、ショートハンドレースを中心に、本場ヨーロッパでの長距離外洋レース活動を開始。日本国内での活動もサポートする。	<a href="http://www.iora.or.jp/">http://www.iora.or.jp/</a>
7	3月1日	国内飼育日数の最長記録のヨシキリザメ、死亡	仙台市宮城野区の仙台うみの杜水族館で飼育されていたヨシキリザメが2月21日、国内飼育日数の最長記録となる245日を達成したものの、その後、3月1日に死亡。原因は不明。飼育日数は252日で止まった。	<a href="http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201703/20170302_13008.html">http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201703/20170302_13008.html</a>
8	3月9日	九十九島を世界にPR、「美しい湾クラブ」（仏に本部）加盟を目指す	景勝地・九十九島を国際的ブランドにしようと、佐世保市は新年度から、フランス・パナヌ市に本部を置くNGO「世界で最も美しい湾クラブ」の加盟に向けた取り組みを始める。世界25カ国41の湾が加わるNGOで、九十九島の観光地としての価値を高めるのが狙い。	<a href="http://www.city.sasebo.lg.jp/soumu/hishok/kohosasebo/documents/201704all.pdf">http://www.city.sasebo.lg.jp/soumu/hishok/kohosasebo/documents/201704all.pdf</a>
9	3月10日	練習帆船〈日本丸〉、国の重要文化財に指定	神奈川県・みなとみらい21地区に係留保存されている練習帆船〈日本丸〉が、文化審議会の答申で、国の重要文化財に指定されることとなった。	<a href="http://www.nipponmaru.or.jp/nipponmaru/jubun.html">http://www.nipponmaru.or.jp/nipponmaru/jubun.html</a>
10	3月19日	STU48、第1期生オーディションを終了し活動開始	AKB48の姉妹グループとして、瀬戸内海エリアで活動するSTU48の第1期生最終オーディションが広島で開催され、12～21歳の44人が選ばれた。同グループは、「瀬戸内海の美しい海を、多くの人に知ってもらいたい」とアピール。メジャーデビューは11月1日の予定だったが、来年1月31日に変更された。	<a href="http://www.stu48.com/">http://www.stu48.com/</a>
11	3月19日	小網代ヨットクラブ、500回記念レース開催	神奈川県・小網代湾を拠点に活動する小網代ヨットクラブの小網代フリートレースは1976年に始まった月例レース。今年3月、500回を迎え、記念レースを開催。	<a href="http://koazirovc.jp/Html/menu-1.html">http://koazirovc.jp/Html/menu-1.html</a>
12	3月21日	環境省が海のレッドリスト、絶滅危惧に56種指定	環境省は21日、海の生き物が絶滅する危険度を示す「海洋生物レッドリスト」を初めて作成し、評価した約1万種のうち小笠原諸島・父島固有の甲殻類「オガサワラベニシオマネキ」など56種を絶滅危惧種に指定したと明らかにした。指定されたのは、魚類がサメの一種「シロワニ」など16種。サンゴ類が「ハナサンゴモドキ」など6種。甲殻類が30種。その他無脊椎動物が「オオシヤミセンガイ」など4種。	<a href="http://www.env.go.jp/press/103813.html">http://www.env.go.jp/press/103813.html</a>
13	3月24日～4月1日	プリンセスソフィア杯で、男子470級の磯崎哲也／高柳 彬が優勝	毎年3月にスペイン・マヨルカ島で開催されるプリンセスソフィア杯は、五輪種目の全10クラスのレースが同時開催されるビッグレガッタで、欧州シリーズの幕開けともなっている。この大会で、男子470級の磯崎哲也／高柳 彬が優勝。なお、同チームは、1月24～29日までマイアミ・ココナッツグループで開催されたワールドカップ・マイアミ大会は銀メダルを獲得している。	<a href="http://www.trofeoпринцесаsofia.org/en/default/races/race">http://www.trofeoпринцесаsofia.org/en/default/races/race</a>
14	4月	神奈川県の「ふるさと納税」返礼品にチャータークルーズが追加	神奈川県では、ふるさと納税の返礼品として、チャーターヨットクルーズなど、18件の豪華ツアーを追加。100万円以上の寄付では、リビエラリゾートが提供する、最高級カタマランでのチャータークルーズが体験できる。	<a href="https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/item_detail/14000/282502">https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/item_detail/14000/282502</a>
15	4月～12月	東京都が社会実験クルーズ「東京舟旅」を実施	東京の河川や臨海部を利用した社会実験として、全5航路のクルーズを実施。2016年9～12月に3航路で実施した同様の社会実験の成果を踏まえ、航路、実施機関を拡大した。	<a href="https://www.suitown.jp/">https://www.suitown.jp/</a>
16	4月3日	日本ウェイクサーフィン協会（JWSA）設立	日本ウェイクサーフィン協会が設立された。トーイングロープを用いないウェイクサーフィンの普及、国際基準に適合した競技環境整備、安全対策の徹底や自然・社会環境との調和を目指す。	<a href="http://japan-wakesurfing.com/">http://japan-wakesurfing.com/</a>
17	4月20日	北海道の海岸にシャチが出現！サーフポイントからサーファーが避難	北海道のサーフポイントにシャチが現れ、サーフィン中で海にいたサーファー10人ほどが海から避難する騒ぎがあった。	<a href="http://waval.net/69218/">http://waval.net/69218/</a>
18	4月27日	女川魚市場の復旧完了。西荷さばき場完成	東日本大震災で被災した女川町の女川魚市場に西荷さばき場が完成し、27日、施工業者から町に引き渡された。震災からの復旧に伴う魚市場の整備は全て完了し、水産の町の復興加速に期待がかかる。	<a href="http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201704/20170428_13051.html">http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201704/20170428_13051.html</a>
19	5月	白石康次郎、〈スピリット オブ ユーコー〉で国内でのセーリング活動を実施	2016年にヴァンデ・グロープ（単独無寄港世界一周レース）2016-2017に参加し、リタイアした白石康次郎が、レース参加艇〈スピリット オブ ユーコー〉（IMOCAオープン60）を日本に回送。この艇を使いスバルカップ、横浜フローティングヨットショー、若大将カップなどのイベントに参加した。	<a href="http://www.kojiro.jp/index.html">http://www.kojiro.jp/index.html</a>
20	5月1日	公共マリナーでボートのシェアリングサービス、広島	公共マリナーであるポートパーク広島で同サービスの運用を開始した。マリナーやその周辺地域の活性化を訴え、全国展開する方針。	<a href="https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000007.000015544.html">https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000007.000015544.html</a>

21	5月2日～7日	小笠原ヨットレース2017	小笠原諸島返還50周年（2018年）の記念事業として、2005年以来12年ぶりの開催となる小笠原ヨットレースが開催された。前回の参加3艇を大きく上回る12艇が参加し、全艇が完走した。	<a href="http://www.ogasawara.yacht-race.jp/">http://www.ogasawara.yacht-race.jp/</a>
22	5月3～5日	第23回日韓親善アヒランレース	1973年の第1回大会から44年目を迎えた、福岡-釜山間で競う外洋ヨットレース、日韓親善アヒランレースが、これまで開催してきた玄海ヨットクラブの解散に伴い、23回目となった今大会で幕を下ろすこととなった。外洋ヨットレース参加艇の減少も終了の理由の一つ。同クラブでは、このレースを新たな形で引き継がれることを希望している。	<a href="http://www.genkai-vc.com/pc/arirang/">http://www.genkai-vc.com/pc/arirang/</a>
23	5月3日～20日	菱垣廻船の航跡をたどるクルージングを実施	閉館した「なにわの海の時空館」のメイン展示である復元菱垣廻船〈浪華丸〉の海上帆走試験にも協力したメンバーらが中心となって組織した風待ち港実行委員会では、大阪から東京まで菰樽を運び、江戸時代の菱垣廻船が風待ち港として利用した港を訪ねる航海「ヨットでたどる風待ち港～菱垣廻船の航跡」を実施した。	<a href="https://heiseihigaki.wixsite.com/higaki">https://heiseihigaki.wixsite.com/higaki</a>
24	5月9日	国際海底探査レースにヤマハ発が参加へ	ヤマハ発動機は8日までに、今秋開幕の無人ロボットによる国際海底探査レースに、日本の産官学チーム「クロシオ」の一員として参加する方針を決めた。無人航行分野などで蓄積した同社の技術を生かし、超広域の海底地形作成など、日本チームのレースでの課題解決を支援する。	<a href="http://www.at-s.com/news/article/topics/shizuoka/357131.html">http://www.at-s.com/news/article/topics/shizuoka/357131.html</a>
25	5月16日	PowerVision社、水中ドローン「PowerRay」を日本で発売	PowerVision社は着脱可能な魚群探知機や釣り餌投下機を搭載し、水深30mまで潜れる水中ドローン「PowerRay」を発表。直販サイトでの予約受付を16日から開始した。3製品を用意している。	
26	5月17日	ウインドサーフィンW杯、横須賀・津久井浜海岸に3万3000人超	横須賀市の津久井浜海岸で開催された「ウインドサーフィンワールドカップ（W杯）横須賀大会」が16日、閉幕した。六日間の期間中、三万三千人を超す観客が来場した。日本開催は1993年の御前崎で開催されて以来24年ぶりの開催となった	<a href="http://www.japan.com/">http://www.japan.com/</a>
27	5月20日	JSAF外洋西内海設立50周年	JSAF（日本セーリング連盟）の外洋支部の一つで、広島県を中心としたフリートで構成される外洋西内海が設立50周年を迎え、記念式典を開催した。	<a href="http://www.nishinaikai.com/">http://www.nishinaikai.com/</a>
28	5月26日	「レクサス・スポーツヨットコンセプト」を公開	国産高級車ブランドのレクサスが、初のスポーツクルーザー「レクサス・スポーツヨットコンセプト」のジャパンプレミアを東京都・天王洲で開催した。	<a href="http://newsroom.toyota.co.jp/en/detail/14681726">http://newsroom.toyota.co.jp/en/detail/14681726</a>
29	5月30日	TORQUEスマホにHHモデル	耐海水性が特長のauのスマホ「TORQUE」と、1877年の創業から防水ウェアで世界中のセーラーから信頼を得る「HELLY HANSEN」が共同開発した。セーリングトレーニング向けアプリ「Sailor's Log」を搭載、7月下旬より300台限定で発売する。購入者は、海洋冒険家の白石康次郎氏のヨット「Spirit of yukoh」に体験乗艇できるスペシャルイベントに招待もある。	<a href="http://www.kvocera.co.jp/news/2017/0507_hell.htm">http://www.kvocera.co.jp/news/2017/0507_hell.htm</a>
30	6月2日	漁業生産、ピーク比3分の1に減	政府は2日の閣議で、2016年度版の水産白書を決定した。15年の漁業・養殖業の国内生産量は前年比2%減の469万トンで、ピークだった1984年の3分の1近くに減ったと報告。消費低迷や担い手の高齢化といった国内要因だけでなく、不漁の魚種について国際的な資源管理に取り組む重要性を強調した。	<a href="https://this.kijii.is/243164280406409220">https://this.kijii.is/243164280406409220</a>
31	6月11日	日本水上安全運航サミット（JBWSS）2017	帝京平成大学・中野キャンパスで、日本海洋レジャー安全・振興協会、水難学会、マリンスポーツ財団の主催、国土交通省、海上保安庁の共催による、水の事故防止を目指す官民連携シンポジウムを開催。JBWSSは、アメリカで長年開催されているIBWSSIに倣ったもので、前年に続く2回目の開催だが、国の機関を含め、マリンレジャー&スポーツに関する団体の参加が大幅に拡大した。	<a href="http://www.maris.or.jp/blogplus/index.php?e=240&amp;mode=maris">http://www.maris.or.jp/blogplus/index.php?e=240&amp;mode=maris</a>
32	6月17日	米イージス艦とコンテナ船の衝突	6月17日未明、米海軍イージス駆逐艦フィッツジェラルドと、日本郵船がチャーターしたフィリピン船籍のコンテナ船ACK CRYSTALが静岡県下田沖約20キロで衝突。米艦で方向不明となっていた7名全員が死亡。	<a href="https://mainichi.jp/articles/20170620/k00/00m/040/108000c">https://mainichi.jp/articles/20170620/k00/00m/040/108000c</a>
33	6月17日～26日	第35回アメリカズカップ、エミレーツ・チームニュージーランドが圧勝。日本は準決勝で敗退	英領バミューダ諸島で開催された第35回アメリカズカップは、防衛側のオラクルチームUSAと、チャレンジャー決定戦を勝ち上がったETNZが全9レースを行い、ETNZが8勝を取って優勝。カップは14年ぶりに南半球へ。なお、ソフトバンク・チームジャパンは挑戦者決定シリーズ準決勝で敗退。	
34	6月28日	水難救助にドローン活用。藤沢で実証実験	本格的な海水浴シーズンを前に、小型無人機「ドローン」を活用した水難救助の実証実験が27日、藤沢市片瀬海岸西浜で行われた。建設会社の社員有志らでつくる一般社団法人「災害対策建設協会 JAPAN47」神奈川支部の主催。	<a href="http://www.kanaloco.jp/article/260669">http://www.kanaloco.jp/article/260669</a>
35	6月28日	大型クルーズ船をホテル代わりに活用する「ホテルシップ」検討	2020年東京五輪・パラリンピックの宿泊施設の確保に向け、政府は大型クルーズ船をホテル代わりに活用する「ホテルシップ」を導入する検討を始めた。関係省庁や業界団体で29日、分科会を設置した。必要な法解釈の整理や供給可能性を議論して、今秋をめどに方針をまとめる。	<a href="https://mainichi.jp/articles/20170630/k00/00m/050/088000c">https://mainichi.jp/articles/20170630/k00/00m/050/088000c</a>
36	7月8日～9日	旧いわきサンマリーナで、メイン桟橋が完成	東日本大震災で甚大な被害を受けた旧いわきサンマリーナ（現小名浜港マリーナ）では、今年3月にメイン桟橋の設置や陸上部分の再舗装など、県の災害復旧工事が完了。この桟橋完成を記念し、福島県総合体育大会セーリング競技を開催。震災から6年4か月ぶりのセーリング競技となる。	
37	7月16日～17日	障がい者と健常者のヨット大会が開催される	7月16日～17日に大分県別府市北浜ヨットハーバーで、2017障がい者と健常者のヨット大会（主催：B&G財団）が開催され、81名のOPディンギージュニアセーラーと3名の障がい者が3クラスに分かれ白熱したレースを展開した。上級者のAクラス、中級者のBクラス、初心者のCクラスで、障がいのあるセーラーはBクラスにハンザディンギーで参加し、一緒にレースを楽しんだ。	<a href="https://www.bgf.or.jp/activity/report/2017/170720_2017yacht.html">https://www.bgf.or.jp/activity/report/2017/170720_2017yacht.html</a>
38	7月18日	「ふね遺産認定制度」がスタート	日本船舶海洋工学会が、日本の造船技術や文化の保全・保存意識を一般に広めるため、船舶関連の遺産、遺構などの文化的価値を公表する認定制度を設立。第1回「ふね遺産」として、復元菱垣廻船〈波華丸〉、砕氷観光船〈ガリンコ号〉、レンガ積み旧浦賀船渠（ドッグ）など、9件を認定し、東京都・明治記念館にて認定式が行われた。	<a href="https://www.iasnaoe.or.jp/zousen-sirvoukan/2017/170530-iasnaoe-Spring-OS3/2017S-OS3-1.pdf">https://www.iasnaoe.or.jp/zousen-sirvoukan/2017/170530-iasnaoe-Spring-OS3/2017S-OS3-1.pdf</a>

39	7月18日～24日	JMAビジットプログラムで、小樽～ホルムスクの合同クルージングを実施	全国9カ所のマリーナが提携し、各マリーナの利用艇オーナーにさまざまなサービスを提供するジャパンマリーナアライアンス（JMA）が「JMAビジットプログラム」を主催し、北海道・小樽港マリーナから稚内を経由してサハリンのホルムスクを目指す合同クルージングを実施。4艇のモータークルーザーが参加した。なお、同じくJMAビジットプログラムとして、4泊5日（兵庫→神奈川）の、帆船（みらいへ）を用いたセールトレーニングも実施。	<a href="http://j-marina-a.com/">http://j-marina-a.com/</a>
40	7月19日	全河川にウナギ禁漁期。静岡県内河川で資源保護を強化	静岡県は18日、ウナギの漁業権が設定されていない県内全ての河川や湖などの内水面を対象に、毎年10月から2月まで禁漁期間を設ける方針を明らかにした。絶滅危惧種のニホンウナギが産卵のために川を下る期間、レジャー客による釣りなども禁止して資源保護を強化する。	<a href="http://www.at-s.com/news/article/economy/shizuoka/unagi/381961.html">http://www.at-s.com/news/article/economy/shizuoka/unagi/381961.html</a>
41	7月29日～30日	マリンカーニバル2017、関西で初開催	3回目となる日本マリン事業協会主催のマリンレジャー普及イベント「マリンカーニバル」。今年は6月3～4日の東京・豊洲、6月10～11日の若洲&夢の島の各日程のほか、「海フェスタ神戸」の公式プログラムの一つとして、三井アウトレットパーク マリンピア神戸を会場に、関西エリアでは初となる「マリンカーニバル神戸2017」が7月29日、30日に開催された。	<a href="http://marine-carnival.jp/">http://marine-carnival.jp/</a>
42	7月30日～8月6日	蒲郡で2017年テザー級世界選手権大会を開催	非オリンピック艇種でありながら、世界各国で愛好者が増え続けているテザー級の世界選手権が、愛知県蒲郡市の海陽ヨットハーバーで開催。	<a href="http://tasarworlds2017.org/">http://tasarworlds2017.org/</a>
43	8月5日	米企業、遺伝子組み換えサケを販売 動物の遺伝子組み換え商品が一般市場で販売されたのは世界初	米バイオベンチャー「アクアバウンティ・テクノロジーズ」（マサチューセッツ州）は4日、遺伝子組み換え技術で開発した通常の2倍の速さで成長するサケを、1月～6月にカナダで販売したと発表した。英科学誌ネイチャーのニュースによると、農作物ではなく動物の遺伝子組み換え商品が一般市場で販売されたのは世界初という。同社は2015年、米食品医薬品局（FDA）からも食品としての承認を得ており、米国内での販売計画も進めている。	<a href="https://this.kijii.is/266364905076901370">https://this.kijii.is/266364905076901370</a>
44	8月7日	カナア五十嵐、サーフィンUSオープン優勝	VANS USオープン・オブ・サーフィンでカナア五十嵐が初のUSオープン・タイトルを獲得	<a href="http://surfmedia.jp/2017/08/07/">http://surfmedia.jp/2017/08/07/</a>
45	8月8日	赤潮で養殖フグ27万匹死ぬ	長崎県松浦市沖の伊万里湾で赤潮が発生し、特産の養殖トラフグ27万匹が死ぬなどの漁業被害が出ていることが8日、分かった。地元漁協によると、同市のフグ生産量は全国一を誇り、被害額は現時点で4億円。中和剤を散布しているが、被害はさらに増える見通し。トラフグのほかにも、クロマグロやハマチなどの養殖魚計6万2千匹が死んだのも確認された。	<a href="http://www.47news.jp/localnews/saga/2017/08/post_20170809085849.html">http://www.47news.jp/localnews/saga/2017/08/post_20170809085849.html</a>
46	8月8日	海につかかって血だらけに、足に原因不明の無数の穴	オーストラリア・メルボルンのブライトンビーチで、30分ほど海に入っていた16歳のサム君が、海から上がると、ふくらはぎから下にかけて大量の出血を伴うケガを負ったという事件が発生。原因は不明。	<a href="http://www.afpbb.com/articles/-/3138427">http://www.afpbb.com/articles/-/3138427</a> <a href="http://gigazine.net/news/20170808-why-melbourne-teenager-bleeding/">http://gigazine.net/news/20170808-why-melbourne-teenager-bleeding/</a>
47	8月10日	せとうち水上機に「紅の翼」	8月10日、造船大手「常石造船」（福山市）傘下の「せとうちSEAPLANES（シープレーンズ）」（尾道市）が、米クレストエアクラフト社製「コディアック100」の水陸両用機で遊覧飛行を始めて1周年を記念して、スタジオジブリの宮崎駿監督が監修したデザインで塗装、「ラーラロッサ（紅の翼）」の愛称で運航を始めた。	<a href="https://setouchi-seaplanes.com/kodiak100/lal-rossa/">https://setouchi-seaplanes.com/kodiak100/lal-rossa/</a>
48	8月12日～16日	第58回 全国高等学校ヨット選手権大会（インターハイ）	和歌山セーリングセンターで開催された第58回大会で、1968年以来、50年間にわたって高校総体ヨット競技の種目として採用され続けてきたFJ級が最後となった。なお、2018年からは、インターハイでは初のシングルハンド種目となるレーザーラジアル級が採用される。	
49	8月19日～26日	レーザーラジアル級女子世界選手権で、土居愛実が日本人初の3位入賞	オランダで開催されたレーザーラジアル級女子世界選手権で、土居愛実（チームアビーム）が日本人初の3位入賞。ヨーロッパの強豪を含む100艇のビッグフリートで全10レースを戦い、10位以内のシングルフィニッシュが7回、大会3日目は総合トップに立った。2020年の東京五輪でのメダル獲得を目指す。	<a href="http://isaf-osc.jp/cn03/pg03_204.html">http://isaf-osc.jp/cn03/pg03_204.html</a>
50	8月20日	フィリピンの砂浜に打ち上げられた「クジラ」の悲痛なメッセージ	プラスチックごみで「クジラ」を製作「海洋汚染」に警鐘を鳴らす。環境保護NGO団体グリーンピース、電通フィリピンと新進気鋭の企業ジェイミーサイファー・グループの合併会社「電通ジェイミーサイファー」によるコラボ企画で、プラスチックごみが引き起こす海洋汚染について世界に訴えるために行われたもの。	<a href="http://tabi-labo.com/281820/deadwhale-project">http://tabi-labo.com/281820/deadwhale-project</a>
51	8月24日	最も深い海で魚を撮影、海洋機構が記録更新（8178m）	太平洋にあるマリアナ海溝の水深8178メートルで、カサゴの仲間深海にすむシンカイサウオを無人カメラで撮影したと、海洋研究開発機構のチームが24日発表した。今年4月に中国のチームが発表した最も深い海での魚の撮影記録を26メートル更新した。	<a href="http://www.47news.jp/news/2017/08/post_20170824180412.html">http://www.47news.jp/news/2017/08/post_20170824180412.html</a>
52	8月26日～9月2日	2017年470級ジュニア世界選手権で、高山大智／木村直矢が3位入賞	2020年東京五輪と同じ神奈川県・江の島ヨットハーバーを会場に開催された2017年470級ジュニア世界選手権で、半年ぶりにコンビを復活させた高山大智／木村直矢が3位に入賞。	<a href="http://2017juniorworlds.470.org/en/default/races/race">http://2017juniorworlds.470.org/en/default/races/race</a>
53	8月27日	76歳でヨット世界一周達成	静岡県静岡市の立尾征男さんが、出航地である小笠原諸島の父島に帰港し、東回りでの単独無寄港世界一周航海を達成。2001年の挑戦に続く二度目の成功となる。〈EOLIA（エオリア）〉（全長約9メートル）で、2016年7月5日に出航して約1年1カ月。5万5千キロを超える航海の中で76歳の誕生日を迎え、「最高齢の世界一周としてギネス世界記録に登録したい」とコメント。	<a href="http://www.at-s.com/news/article/topics/shizuoka/395474.html">http://www.at-s.com/news/article/topics/shizuoka/395474.html</a>
54	9月1日	米国NOAAが無人航行するセールドローンの運用を開始	米国・国立海洋大気局（NOAA）が、19フィートのウイングセールを動力とする2隻の無人トリマラン「セールドローン」を、カリフォルニアから赤道までの往復8,000マイル、6カ月間の航海に送り出した。太平洋のデータを集めて気象予報の精度を高め、エルニーニョ現象に付いての理解を深めるのが目的。また、ペーリング海峡を通過して、流水の溶ける様子を追いかけ、二酸化炭素を計測し、海洋哺乳動物の数をカウントするプロジェクトも進行中。艇は、2013年にカリフォルニアからハワイへの2,100を自動操船で渡る最長気力距離を達成するために、リチャード・ジェンキンスが開発したものの。	

55	9月5日	オリンピック松永鉄也の特別授業	2008年北京五輪セーリング競技男子470級で7位に入賞した松永鉄也さんが、2020年東京五輪に向けたオリンピック・パラリンピック教育推進事業の一環である「『夢・未来』プロジェクト」として、東京都北区東十条小学校で特別授業を実施。全校生徒約400人に講演を行ったのち、同校のプールにOP級を浮かべ、5・6年生を対象としたセーリング体験を指導した。	<a href="http://www.isaf.or.jp/hp/j-sailing?pid=11159">http://www.isaf.or.jp/hp/j-sailing?pid=11159</a>
56	9月8日	漁船にミサイル発射速報、水産庁が新システム導入	北朝鮮の相次ぐミサイル発射を受け、水産庁が操業中の漁船の安全を確保するために発射情報を自動的に伝える新しい無線システムを2018年度にも導入する方針を固めたことが8日、分かった。現在は漁業無線局の職員が読み上げている文面を、新システムでは自動音声で伝える仕組みで、発射情報が数分で漁船に届く態勢を築く。	<a href="http://www.niigata-nippo.co.jp/world/national/20170908345018.html">http://www.niigata-nippo.co.jp/world/national/20170908345018.html</a>
57	9月12日	海上保安庁による「ミニボート&カヌー及びSUPの安全対策に係る意見交換会」	ミニボート、カヌー・カヤック、SUP人口増加に伴い事故発生率の増加が懸念され、海上保安庁交通部安全対策課主催で開催。7月19日(木)、中央合同庁舎にて「カヌー及びSUPの安全対策に係る意見交換会(第一回)」が開催され、続いて同庁舎にて9月12日に、「ミニボートの安全対策に係る意見交換会」、10月5日には「カヌー及びSUPの安全対策に係る意見交換会(第二回)」が開催されました。今後も定期的に開催し、各業界人と発生状況、効果的な安全対策に関する情報交換・共有を図る予定。	<a href="http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/h29/k20170911/k170911-1.pdf">http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/h29/k20170911/k170911-1.pdf</a>
58	9月15日	シーパラで希少な深海生物全滅	横浜・八景島シーパラダイス(横浜市金沢区)で5月から8月にかけて、研究機関から譲渡された希少な深海生物約90匹が全滅していたことが分かった。同施設を運営する横浜八景島(同区)は、水槽内の水温をコントロールしている冷却設備の故障が主な原因としている。	<a href="http://www.kanaloco.jp/article/277770/">http://www.kanaloco.jp/article/277770/</a>
59	9月15日～18日	全日本水上スキー選手権、親子で各部門に優勝	2017年9月15日～18日に秋田県大湯村水上スキーサイトで開催された第63回全日本水上スキー選手権(主催:日本水上スキー連盟)において、スラローム、トリック、ジャンプの3部門のオーバーオールチャンピオンに、45歳以上女子部門と17歳以下男子部門において、池田元美、ユウキ(名前確認中)親子がそれぞれの部門で優勝した。同大会において母子でオーバーオールチャンピオンになったのは、池田親子が初めて。	<a href="http://jwsa.jp/media/filestore/2017_nationals_overall.pdf">http://jwsa.jp/media/filestore/2017_nationals_overall.pdf</a>
60	9月18日	秋の味覚、サンマが高い	中国や台湾による乱獲と、8月以降、北海道に相次いで上陸した台風の影響で、サンマは今年も不漁。大型のものは1尾500～800円で昨年より5割高。	<a href="http://www.sankei.com/premium/news/160918/prm1609180029-n1.htm">http://www.sankei.com/premium/news/160918/prm1609180029-n1.htm</a>
61	9月20～29日	505級世界選手権に、29年ぶりに日本人選手が参戦	米国メインランド州アナポリスで開催された第62回505級世界選手権に、笠口史郎/藤田崇夫組が参加。日本からの参加は29年ぶり、同大会の公式サイトでも大きく紹介された。	
62	9月21日	震災以降初めて、カキ出荷を解禁日に開始	宮城県漁協などは20日、生食用カキの品質検査を石巻市内で実施し、今季の出荷を29日に解禁する方針を決めた。県は指針で、毎年29日を出荷解禁日と定めており、県指針と同日に出荷を開始するのは東日本大震災以降初めて。	<a href="http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201709/20170921_13028.html">http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201709/20170921_13028.html</a>
63	9月27日	ウナギ放流募金(クラウドファンディング)は、期間を1カ月以上残して達成	マリアナ諸島沖へ産卵に向かう絶滅危惧種ニホンウナギの親を市場で買い上げて遠州灘に放つ「浜名湖産親うなぎ放流事業」で、同事業の連絡会が1日から親ウナギの買い上げ費用として寄付を呼び掛けているクラウドファンディングは、募金期間を1カ月以上残して目標額の30万円に到達した。協力者には骨や頭などウナギの残さを肥料に栽培した「うなぎいも」のお菓子、浜松うなぎ料理専門店振興会の食事券などを返礼品として贈る。9月～10月の2カ月間で30万円を集める目標を、開始から17日で達成した。	<a href="http://www.at-s.com/news/article/economy/shizuoka/unagi/406393.html">http://www.at-s.com/news/article/economy/shizuoka/unagi/406393.html</a>
64	9月29日	第36回アメリカズカップのプロトコルが発表	エミレーツ・チームニュージーランドが、次回アメリカズカップのプロトコルを発表。第36回大会は2021年3月に、75ftのモノハル艇(AC75クラス)を用いて開催される。なお、世界各地を転戦するACワールドシリーズは維持されるが、挑戦者決定シリーズは「ブラダカップ」と名付けられた。この発表から1週間の時点で、イタリアのルナロッサ、アメリカのニューヨークヨットクラブが挑戦を正式に発表している。	
65	9月29日	震災津波で生き物290種が北米に貝や甲殻類、漂流物に付着	東日本大震災の津波で日本から流出した漂流物に付着して北米に到達した生き物が約290種に上ると、米国の研究チームが29日付米科学誌サイエンスに発表した。多くは貝類や甲殻類で、チームは、海で分解されにくいプラスチックなどの人工物にくっつくことで、生きのまま数千キロを移動できたとみている。	<a href="https://this.kijii.is/286196331364877409">https://this.kijii.is/286196331364877409</a>
66	9月29日	黒潮が大蛇行	9月29日気象庁発表。8月下旬から黒潮が紀伊半島から大きく離岸する12年ぶりの大蛇行。船舶の運航や漁業、潮位の上昇による浸水などに影響がありそうだという。	<a href="http://www.jma.go.jp/jma/press/1709/29a/20170929_kuroshio.html">http://www.jma.go.jp/jma/press/1709/29a/20170929_kuroshio.html</a>
67	9月30日	「豊洲水彩まつり2017」開催	江東区の水辺に親しむ会など複数の団体が主催した「豊洲水彩まつり2017」は、2016年11月に東京都江東区豊洲に完成した、スロープと浮桟橋を備える「豊洲マリーナ(仮称)」を会場とした。ハンザディンギーの体験試乗やカヌー体験、町内対抗ゴムボートレースなどを実施。数日後には、豊洲のこれからについて議論を交わす「KOTO水彩都市フォーラム2017」も開催された。	<a href="http://koto-kanko.jp/event/detail.php?eid=414">http://koto-kanko.jp/event/detail.php?eid=414</a>
68	10月1日	サーフィン世界ジュニア選手権にて安室が日本勢で初優勝	サーフィンの世界ジュニア選手権(宮崎県日向市のお倉ヶ浜海岸)で、男子U16(16歳以下)で安室文(あずちじょう)が優勝。世界ジュニア選手権で日本選手が優勝するのは初。上山久里未(かみやまくりす)、ブラジル、米国の計4選手で争われた決勝で16.6点(20点満点)を記録し、優勝した。	<a href="https://www.bcm-surfpatrol.com/newsandreport/detail/8432">https://www.bcm-surfpatrol.com/newsandreport/detail/8432</a>
69	10月1日～4日	第72回国民体育大会・愛媛(えがお)つなぐえびめ国体で、開催県の愛媛が天皇杯、皇后杯を獲得	第72回国民体育大会・セーリング競技において、愛媛県代表団が全10種目中6種目で優勝、そのうち成年女子3種目はすべて優勝を果たし、天皇杯、皇后杯を獲得した。開催権が総合優勝を果たしたのは、都道府県対抗となった第3回からの69大会のうち20回のみ。愛媛県では、過去のセーリング競技において、天皇杯、皇后杯とも3位以内に受賞したことがなく、今回の優勝は選手招集と強化が実を結んだ。	
70	10月1日～29日	熊本県・芦北町で、観光うたせ船の定時運航を試験的に実施	熊本県・芦北町では、全国で唯一、観光船として乗船できるうたせ(打瀬)船の定時運航を試験的に実施。これまでは団体による貸し切り運航のみとなっていたが、個人客にも気軽に乗船してほしいとの試み。なお、打瀬船は、帆に風を受けて船を風下に流しながら網を曳く打瀬漁を行う船で、同地ではおよそ400年前から続いているもの。なお、現時点では、定時運航の継続は未定。	<a href="https://this.kijii.is/285218892551390305">https://this.kijii.is/285218892551390305</a>

71	10月2日	屋形船で江戸情緒の「写し絵」復活	江戸系あやつり人形劇の「結城座」が、ガラスに描かれた絵を幻灯機でスクリーンに映し出す「江戸写し絵」を復活上映した。周囲の屋形船などから播州皿屋敷の怪談や日本の四季の絵などを楽しんだ。座長は、隅田川の風物詩として定着させ、東京オリ・パラを迎えたいと話している。	<a href="http://www.youkiza.jp/mamejiten/utsushie.html">http://www.youkiza.jp/mamejiten/utsushie.html</a>
72	10月8日	第35回 リビエラ選手マリーナヨットレース 加山雄三インヴィテーショナル 若大将カップ	一昨年、昨年と、荒天によるノーレースや延期が続いていた「若大将カップ」が、開催3年目にして初めて、予定通りにレースを開催。クルーザー、ディンギー合わせて116艇が参加。レース後のパーティーでは加山雄三さんによるステージもあり、大いに盛り上	<a href="https://www.riviera-r.jp/cup/2017/zmc.html">https://www.riviera-r.jp/cup/2017/zmc.html</a>
73	10月10日	本州と沖縄を結ぶ旅客フェリー休止	10月10日、本州と沖縄を結ぶ唯一の旅客フェリーであったマルエーフェリーの阪神航路（神戸ー大阪ー志布志ー名瀬ー那覇）が休止になった。8月31日発表。離島住民が少子高齢化しているところへLCCの新規参入による乗船客の激減がとどめとなった。同航路は1973年に開設され、与論島ブームや沖縄海洋博で乗客が押し寄せた。2014年には東京から沖縄への航路も休止されている。本土から沖縄への旅客フェリーは鹿児島からのみが残る。	<a href="http://www.aline-ferry.com/news.html">http://www.aline-ferry.com/news.html</a>
74	10月10日	ニュージャパンマリン初の完全オリジナルモデル、NSC265を発売	日産マリンの主要ラインナップを継承したニュージャパンマリンが、ポートショーで参考出品した26フィートクラスのプレジャーカタマラン、NSC265を発売。	
75	10月15日	「葉山ヨットフェス2017」開催	2020年に東京オリンピック セーリング競技が神奈川県江の島で開催されることにちなみ、10月15日葉山町でヨットフェス2017が開催された。ヨットと葉山港をもっと身近に感じてもらうと町と町教育委員会が体験講座を主催した。	<a href="http://www.kanaloco.jp/article/283722">http://www.kanaloco.jp/article/283722</a>
76	10月17日	「せとうちに浮かぶ小さな宿」就航	木材を多用した客室と、切妻の屋根、縁側などを備えた新しいコンセプトの豪華客船「ガンツウ」が瀬戸内海の周遊航路に就航した。客室は全9室の38人定員に対し、クルーは46人。メインダイニングの有名割烹の監修を受けた和食など「和」の風味を前面に押し出した。室料は1泊40万～100万円。運航は常石造船を中核とする企業グループ傘下のせとうちクルーズ。	
77	10月17日 *22日	日本で初のセーリングワールドカップ開催	日本で初めての「セーリングワールドカップ」が愛知県蒲郡市豊田自動織機海陽ヨットハーバーで開催された。世界39カ国・地域から280人以上の選手が参加。同大会は、ワールドセーリング（国際セーリング連盟）が主催し、世界を転戦しながら1年間に4大会行われる五輪種目のシリーズレガッタ。日本人選手が4種目で表彰台に上り、銀、銅合わせて5つのメダルを獲得した。	<a href="http://swc-gamagori.jp/">http://swc-gamagori.jp/</a>
78	10月22日	台風21号上陸で、江の島に被害	22日夜から23日にかけて列島を縦断した台風21号は江の島にも襲来したが、同ヨットハーバーを運営する湘南なぎさパークの桜庭英彦・湘南港管理部長は「多少の物損はあったが、ヨットの被害はほとんどない」と対応。被害が目立ったのは向いにある小田急ヨットクラブ。フェンスがなぎ倒され、マストが折れ曲がったヨットや、ひっくり返って折り重なっている船体もあった。	
79	11月5日	大井川港沖のカヤックの釣り人男性遺体・手足にサメなどの大型の魚にかまれたような損傷	11月5日午前8時15分ごろ、静岡県焼津市飯淵の大井川港から約6キロの海上で、「1人乗りのカヌーが転覆し、カヌーのロープに人が引っかかって浮き沈みしている」と近くを航行中の漁船から御前崎海上保安署に通報があった。同海保によると、男性は50～60代で身長172センチ。黒色のつなぎに黒地に深緑色の釣り用ベストを着用しており、手足にサメなどの大型の魚にかまれたような損傷があった。死後半日から2日程度経過しているが、死因は不詳とい	
80	11月19日	石川県・穴水町で金沢工業大学ヨット部の470級が練習中に転覆、1名死亡	18日夕方、石川県穴水町の穴水湾で、大学のヨット部のヨットが転覆して男子学生2人が海に投げ出され、このうち1人が死亡。海上保安部や大学によると、ヨットに乗っていた学生2人が海に投げ出され、まもなくヨット部の監視艇に救助されたが、このうち2年生の川田京祐さん（20）が、運ばれた先の病院でおよそ2時間後に死亡が確認された。もう1人の1年生の男子学生にけがはなかった。ヨット部は18日正午ごろから、穴水湾でヨット3艇に2人ずつ乗って練習をしており、部員全員が救命胴衣を着用していた。当時、穴水町には強風や波浪などの注意報が出ていた。	
81		大阪、神戸が開港150周年	大阪港、神戸港が開港150周年を迎え、「海フェスタ神戸2017」など、さまざまな関連行事が開催された。	
■訃報関係				
82	1月3日	柏村 勲氏、逝去	ヨットをテーマとした叙情的な絵画を描き続けた海洋画家、柏村勲氏が、3月5日に他界した。享年92歳。東京美術学校（現 東京芸大）卒業後、黒澤 明監督の美術助手や中学校教員などに従事したのち、友人のアメリカ人夫妻と10カ月にわたるヨットでの欧米旅行を経験。以来、ヨットと海を描き始めた。その後、家族を伴って南太平洋のトンガ王国へ移住。トンガ友の会を設立するなど、南太平洋の文化普及と発展にも貢献。晩年は、伊豆半島の河津でキャラクター&ホテルを開業し、絵画制作に取り組んでいた。	
83	1月4日	「海のフェラーリ」リーバの創始者、他界	イタリアのカルロ・リーバが95歳で他界。北イタリアのイゼオ湖畔にあった家族経営の小さな造船所を引き継いだカルロは、リーバを、国家元首や世界的な映画スターを顧客名簿に名を連ね、優雅さと贅沢の象徴とされるブランドへと成長させた。	
84	6月26日	ヨットデザインの巨匠、ダグ・ピーターソン、逝去	1970年代から80年代にかけて、八つの世界タイトルを獲得し、アドミラルズカップなど多くのオフショアレースを制したヨットを設計した、ダグ・ピーターソンが、71歳で他界した。1995年のアメリカズカップで、エミレーツ・チームニュージーランド（ETNZ）を勝利に導いたレース艇（NZL32）をローリー・ダビットソンと共同設計するなど、複数回アメリカズカップにも関与したが、亡くなった6月26日は、ETNZがパミュダで第35回アメリカズカップに勝利した日に重なった。	